



■青葉山(山容の美しい若狭富士)

- 日 程：8月16日(日)
- 参 加 者：La 尾内 SLa 砂川(延) 阿江 貝塚(陽) 小山 坂田(敬) 嶋澤
田中(重) 田中(美)
Lb 山本(正) SLb 貝塚(文) 田中(由) 時井 中嶋 平石 三木(勉)
森下 矢根 山下(雅) 中山(一般参加)
- 行 動 記 録：中山寺登山口(9:10 着)9:20 発～高野道合流点 9:40～展望台
(10:25 着)10:30 発～青葉山東峰(11:30 着・昼食)12:00 発～
青葉山西峰(13:05 着)13:30 発～松尾寺(15:00 着)15:30 発～
とれとれセンター(16:00 着)16:30 発

◆◆秀麗な若狭富士を登山して

三木

還暦を過ぎると、急速に筋力が衰えるそうです。自分は還暦どころか去年65歳を過ぎ、実感しております。その反省の意味もあり最近、土曜日の自主トレや山行に極力参加するようにしました。

山行当日は5時に起床、天気・気温はまずまずだが、湿度が高いのでかなり難儀しそう、案の定かなりきつかった。



9時10分ストレッチ後、青葉山目指し登山を開始する。青葉山は若狭富士の異称を持ち東部海岸から眺める山容が秀麗な景観を見せるとの事です。山容が美しい山はどの山もそうですが、この山もピーク寸前はかなり急な坂で、鎖場ではカラビナ&スリングを使い大変でした。苦勞して登った甲斐あって頂上から望む日本海は絶景でした。高浜原子力発電所も眼下に見えました。

頂上から次に目指すは西国三十三所第29番札所松尾寺です。かなり急な下りでこの坂を登るのは大変だろうなと思いながら下りました。

帰路途中海産物専門の「道の駅」舞鶴により土産を買い19時前に帰宅しました。

この山行はいいトレーニングになり美しい景色も見られて大変よかったです。

リーダーはじめ皆さん有難うございました。



■夏山集中山行

- 日 程：8月20日(木)～24(月)
- 参加者：45名
- 最終日8月23日 水明館佳留萱山荘宿泊

I

中の湯温泉から焼岳、新穂高温泉

- 日 程：8月22日(土)～24(月)
- 参加者：La 砂川(延) SL 荘所 阿江 兼本 小山 嶋澤 田中(重) 田中(美) 田中(由) 田羅間(勤) 時井
SLb 藤本 田口(末) 田口(善) 田中(良) 田原 平井(み) 平石 福原
前川(克) 森下 山本(清)
- 行動記録：中の湯温泉 5:10 発～焼岳登山口(5:22 着)5:25 発～休憩(6:20 着)6:25 発
23日(日) ～休憩(7:30 着)7:40 発～休憩(8:30 着)8:45 発～焼岳北峰(9:45 着)10:30 発
～焼岳北峰頂上へ 11:00 発～休憩(12:00 着)12:10 発～中尾峠(12:25 着)12:35 発～展望台(12:45 着)12:50 発～焼岳小屋(13:00 着)13:10 発～秀網
神社(13:47 着)13:55 発～休憩(14:55 着)15:00 発～白水の滝展望台(15:37 着)15:45 着～焼岳登山口(16:27 着)

◆◆夏山山行「焼岳」に参加して

田中

8月22日(土)今日から2泊3日の山行、総勢22名がマイクロバスでの出発です。
天気も良く車内では山の歌など数曲合唱し、和気あいあいで楽しいひと時を過ごしました。
サービスエリアで昼食をすませ途中、雨がぱらついた处もありましたが、快適なドライブで午後4時前には中の湯温泉に着きました。夕食後、星を見て明日の天気心配もなさそうなので安心して床につきました。

23日(日)4時起床、ストレッチ後5時10分出発。上高地から何度も見た焼岳！登れるなど思ってなかった焼岳！その山に登れる期待と不安を胸に歩を進める。



暫く行くと樹林帯になりダテカンバ、ブナの大木の間から吹く風は爽やかで気持ちよく登れたが、次第にガレ場や岩場の急登など厳しさが増してきた。紅葉が始まりかけたナナカマドや高山植物も見られるようになり、アザミ、タマガワホトトギス、リンドウ、和製エーデルワイス

ス？と思っていたヤマハハコ、白くて丸いシラタマノキ等に、心和ませてもらいながら1歩1歩焼岳に近づいていることが実感できた。

森林限界を過ぎ急に視界が開け、焼岳が間近に見え、その雄大さにビックリ！でも、かなりの距離がありそうで心が萎えそうになった時、突然「雷鳥」と声がした。昨年、室堂で見て以来なので懐かしく出会えたことが嬉しく勇気づけられた。2300mと記された岩があり、少し先の平坦な所に大勢の人達が見えたのもう少しの頑張りと思いながら登った。

頂上と勘違いし「バンザ〜イ・・・」私達でも登れたと感動していたのに、そこは火口の縁で活火山らしくガスが大小噴出し硫黄の匂いが漂っていた。火口湖(正賀池)には青空が映りとても美しく優しい色で私達を迎えてくれた。南峰の方が高いが立ち入り禁止なので、崖っぷちに掴まりながら北峰に行きリュックを置いて岩場をよじ登り頂上へ立った。やっとの頂上に感動と同時にここまで連れて来ていただいた事への感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。(高い所が苦手な私には厳しいものがありましたが、皆と一緒にの気持ちが勝ってついて行けました。)

下山も足場の悪いガレ場が続く道を慎重に歩き焼岳小屋に着き、休憩をして中尾温泉方面へ……。途中、珍しいヒカリゴケが生えている所が2〜3箇所あったり、白水の滝の見られる展望所もあり疲れを癒されながら樹林帯をゆっくり下りました。苦しい山行ではありましたが全員で下山出来た事が何より嬉しく感謝の一言です。

今回の山行では、B班学習会のメンバー7名(男性2人・女性5人)参加で心強かったです。

会長さんはじめ参加された皆さん、お世話になり思い出に残る山行をありがとうございました。お疲れ様でした。

◆◆初の夏山山行に参加して(焼岳編)

福原

初めての夏山山行を前に、遠足を迎える小学生のように数日前よりワクワクしていました。

初日は移動日ということで、一路バスで中の湯温泉を目指します。太平洋上には2つの台風が発生しており、宿到着も北アルプスの山々は一様に雲に覆われ、翌日の天気はかなり心配だったのですが、宿の主人の「明日の天気は大丈夫」との言葉に少し安堵。まず、温泉で長旅の疲れを落とし、宴会で鋭気を養います。



しかしながら当日は、同部屋のT君のいびきに悩まされ、かなりの睡眠不足。さらに、かねてよりファンであった堀北真希さんの結婚報道に傷心し、身体的にも精神的にも最悪のコンディションの中の山行となりました。

宿を出発後、すぐに登山口に到着。ここからはしばらく樹林帯が続きます。その後、中の湯新道分岐辺りで樹林帯を抜けると、目指す焼岳の頂が目の前に姿を現します。噴煙と硫黄の臭いに、活火山に来ていることを実感。みんな持参のヘルメットを被り、気を引き締め、頂上を目指します。

途中、ライチョウに出会うサプライズもあり、ようやく頂上の尾根に到着。

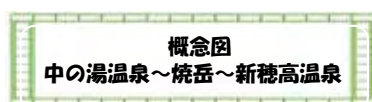
その後荷物を置いて、焼岳北峰まで登ります。

生憎ガスが出ており、絶景を味わうとまではいきませんでした。火口も見ることが出来初アルプスに大感動、仕事を休んで来た甲斐がありました。

その後焼岳小屋を通り、登山口を目指しひたすら下るのですが、この下りが結構厳しく、下れども下れども一向に先が見えず途中、ヒカリゴケの生息地や白水の滝展望台等、見どころも多かったのですが、疲労のためゆっくり堪能する余裕もなくなっていました。ようやく登山口についた頃には日も暮れかかっており、宿の方に迎えに来ていただくことになりました。

宿にはすでに他の班の方々も到着しており、我々が最後でした。その後すべての班が勢ぞろいし大宴会、楽しい宴となりました。この日もT君と同部屋で、また眠れない一夜を過ごすかと心配になりましたが、疲れのためか床に入るとすぐ眠ってしまい、熟睡することが出来ました。翌日、露天風呂で皆さんが「槍(槍ヶ岳)が見えた」と騒いでおり、我々も見ようとしたのですが、そのころにはすっかり雲で覆われ、見る事が出来ませんでした。しかし、風呂上りに、「おい、今、槍が見えるから、こっち来い」の声に走っていくと、遠くに先の尖った登山家憧れの山が。いつかあの山に登ってやろうと決意を新たにした夏山山行となりました。

最後に、リーダーの会長をはじめ、係の皆様ありがとうございました。メンバーにも恵まれ、良い思い出が出来ました。また来年もぜひ参加したいと思います。



- ※ 焼岳北峰からの下り、スリップに注意する。
山頂付近はガスの噴出が有るので注意する。
- ※ ヘルメットの着用が望ましいので、持っている方は携帯して下さい。

